

☆きららの里にて野外活動

8月19日と20日に一泊二日で野外活動を5年生が実施しました。目的地は、きららの里です。北設楽にあり、豊川の水源付近にある施設です。到着した時の気温は、施設の気温計で27℃、当日の豊川市より4℃～5℃低い気温でした。

到着後は、まず施設近くで川遊びを行いました。くるぶしぐらいの深さの川ですが、冷たい水に歓声があがりました。小さな魚を見つけた児童もいました。



昼食後は、木工教室でストラップを作ったり、ログハウスに荷物を運び入れたりして過ごしました。初めてのログハウスに気分が上がり、寝具のシーツの敷き方に悪戦苦闘しながらも笑顔が見られました。



夕食準備が始まると、班ごとに協力しながらカレーを作りました。包丁さばきに不安を感じながらも、野菜の皮をむき、肉を切って、鍋に順番に入れていました。一方、炊飯では、初めて見るガス窯の使い方に戸惑いながら、準備を進めていました。



出来上がったカレーは、水分が多いものから少ないものまで様々でしたが、どのカレーもおいしく、完食となりました。自分たちで作ったカレー、いつも以上においしかったのかもしれません。

夕食後は、いよいよキャンプファイヤーです。楽しいゲームがたくさんできて、子どもたちの笑い声がたくさん響き渡りました。キャンプファイヤーの最後は、「光の舞」です。トーチ棒の光が作り出す、光輪に子どもたちの歓声がたくさんでました。



2日目の朝の気温は20℃、爽やかなスタートでした。森林ガイドの引率で、森林教室を行いました。

原生林の中は、涼しくて自然のエアコンのようでした。

「紙幣」の紙の原料となるミツマタの木や水を貯えるブナ林など、多くの木の特徴を森林ガイドから学びました。



一泊二日の野外活動を通して、自然のすばらしさや仲間同士協力する大切さについて、改めて学ぶ機会となりました。

